

学校・部活動紹介

島根県立浜田商業高等学校は1965年（昭和40年）に開校された島根県西部唯一の県立商業高校です。島根県教育委員会から郷土芸能部門の文化指定校として推薦され、今年で17年となりました。部員数は3年生3名、2年生10名、1年生2名の合計15名で活動を行っています。日々の部活動を通して様々な演目の習得、練習に取り組むとともに、礼節や協調精神の醸成にも努めています。また、校外からも公演依頼などを多数いただき、多くの皆様に石見神楽の魅力が伝わり、「また見たい」と思っていただけのような舞を目指して日々研鑽を積んでおります。

作品紹介

郷土芸能

「神 迎 え」

☆第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会 郷土芸能部門 優秀賞・文化庁長官賞



石見神楽は島根県西部地方に伝わる伝統芸能であり、豊作、豊漁を祝う秋祭りの前夜祭に奉納され、「古事記」や「日本書紀」からなる記紀神話をモチーフにした演目が夜通し舞われます。

石見神楽の舞は大きく二つに分かれ、素面の舞手が採物を持って舞う儀式舞と、面をつけて神話劇などを神に扮して舞う神楽能に分かれます。

「神迎え」は儀式舞の一つであり、四方中央の日本の神に五行説を結びつけ、神楽殿を清め神々をお迎えする神楽です。五行説によると万物は木火土金水の元素からなり、季節や方位それぞれに神が宿っていると言われていています。四季の変わりめには土用があり、それを中央に見立て、舞台の四方と中央を清めていきます。自然に感謝する奉納神楽の意味合いを大切に、神楽殿と同様に上演いたします。